

わたっこハウス

2024年度
事業報告

事業報告

事業実績報告

個別保育計画書の職員周知と実践力の向上

育成支援の情報提供の向上

子どもの権利条約の意識啓発

子どもの集団作り

事業実績報告

年間開所日数 283日
平日平均 62.1人

年間目標 36,150,000円
収益実績 38,999,550円

達成率 107.9%

委託金内訳

| 項目 | 金額 |
|--------------------|------------|
| 保育料事業費 (特別徴収含む) | 11,348,000 |
| おやつ・教材費 | 2,988,000 |
| 委託金 | 20,471,000 |
| 児童奨励費 | 3,630,000 |
| その他の収益 | 562,550 |
| 合計 | 38,999,550 |

| 項目 | 支援の単位A | 支援の単位B | 支援の単位A+B |
|--------------------|------------|-----------|------------|
| 基本額 | 4,868,000 | 4,868,000 | 9,736,000 |
| 開所日数加算 | 400,000 | 320,000 | 720,000 |
| 長時間開所加算 | 991,000 | 991,000 | 1,982,000 |
| 障害児受入推進 | 2,059,000 | 2,059,000 | 4,118,000 |
| 障害児受入強化推進 | 2,059,000 | 0 | 2,059,000 |
| 家賃等補助 | 0 | 540,000 | 540,000 |
| キャリアアップ 処遇改善費 | 394,000 | 526,000 | 920,000 |
| 放課後児童支援員等 処遇改善費 | 132,000 | 264,000 | 396,000 |
| 合計 | 10,903,000 | 9,568,000 | 20,471,000 |

【個別保育計画書の職員周知と実践力の向上】

個別保育計画の作成により統一した支援を、全職員が実施できるようにし、こどもが安心して過ごせる場、保護者が安心して預けられる場を作る。

実施状況

□保育計画・個別保育計画を全職員が確認した

- ・保育計画・個別保育計画を見たことで、これまでと違う対応の仕方、声かけの回数が増えた。

□毎日の打ち合わせで、振り返りを行った

- ・情報共有を行うことで、全体で保育を行う意識に変わった。

□アルバイトスタッフが企画を考え実行した

- ・子どもたちが楽しめることを考え実行。子どもたちが困らず楽しむためのスタッフの動き、声掛けの大変さを知る良い機会となった。

課題：計画の作成時にアセスメントが取れるスタッフが少ない。何か困った行動があったときに原因を分析する力が弱い。

事業報告

【育成支援の情報提供の向上】

子ども達の育ち、育成支援の目的や実施状況等、保護者・学校の先生・行政の関係者に情報を発信し、子育て支援の共有を行う。

実施状況

□毎月月末に通信を発行した

- ・通信を発行したことで子どもたちの様子を保護者に伝えることが出来た。今後も継続的に発行を行う

□夏祭りに関係機関、保護者を招待した

- ・当初予定していた夏祭りの日に台風の影響があった為、こどもだけの夏祭りに変更した。

日程変更があったが、15名の先生が参加してくださいました。

課題

- ・SNSを利用した育成支援の情報発信が出来ていませんでした。活用の仕方を検討する

事業報告

【子どもの権利条約の意識啓発】

子どもの権利を学び、常に子どもの権利が遵守されるための土壌を作る。

実施状況

□子どもの権利条約プロジェクトチーム第3期生募集

- ・14名の子供たちが活動した。

□3チームに分かれて活動開始（紙芝居・新聞・マンガ）

- ・自分たちで活動日を決め、子ども達で声を掛け合い進めた。

□わたっこ、半田市役所でお披露目会

- ・半田市役所にプロジェクトチームメンバー全員で行き、自分たちの思いを伝えた。
- ・完成した作品を動画にし、子ども達が視聴した。

課題

子ども達、市役所への周知は行うことが出来ているが、学校の先生、保護者への発信が弱い。

事業報告

【子ども集団作り①異学年の取り組み】

異学年の集団作りを設定し、子どもにとって成長・経験・学びの場となるようにする。

実施事項

- グループ活動 内容：6年生がグループを決めた。いろいろな取り組みの中で交流した。
- フリーおやつ 内容：自分でおやつを買う楽しさを経験する。交通ルールも学んだ。
- 夏祭り 内容：グループで取り組み準備・お店番・お客さんを行った。
- わたっこ運動会 内容：6年生が企画を考え実行した。
- 縄跳び検定 内容：出来ることを増やす！チャレンジしてみる！を体験した取り組みが出来た。
- 伝承遊び大会 内容：自分の記録とグループの記録で景品をゲットした。
- バレンタイン・ホワイトデイ 内容：有志の子どもたちで、当日のおやつを作った。

・異学年が交流する場を設定することで、高学年が低学年を見る力がついてきた。

事業報告

【子ども集団作り②学年の取り組み】

年齢の発達段階に合った学年の集団作りを促進し、子どもにとって大切な場所になるようにする。

実施事項

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 3年生主催七夕会 | 内容：話し合いを行って、天の川に短冊を飾り、当日はおやつ作りを行った。 |
| <input type="checkbox"/> 4年生対象デイキャンプ | 内容：電車・徒歩で阿久比のふれあいの森まで行き、飯盒炊飯を行った。 |
| <input type="checkbox"/> 5, 6年生対象キャンプ | 内容：有楽事業所に宿泊。河和口駅までの道のりを自分たちで調べ歩いた。 |
| <input type="checkbox"/> 2年生主催節分会 | 内容：子どもたちで話し合い当日に○×クイズを行った。 |
| <input type="checkbox"/> 3年生冒険旅行 | 内容：往復10キロの道のりを歩いた。 |
| <input type="checkbox"/> 6年生卒所旅行 | 内容：旧東海道を歩く。今回は鞠子宿から蒲原を歩いた。 |

・学年の取り組みでは協力する姿が見られた。各学年でまとめ役になってくれる子が出てきた。

事業報告

【子ども集団作り③ニーズを取り入れた取り組み】

子どもたちからのニーズで始まった取り組み。Pokémonカードだからこそ繋がれる子ども同士の関係づくりの促進。子どもにとって大切な場所や居場所を増やす。

実施事項

□Pokémonカード大会

- ・ポケカ部が発足したことで、定期的にPokémonカード大会を開催できた（年間4回開催）

□おやつ作り

- ・有志の子どもたちで一から話し合いをし、アイス・カップケーキ・チーズケーキ・チョコケーキを作った。
- ・アレルギーの子も食べれるようにレシピを調べ作った。

□独自のカードゲーム作成

- ・ポケカは難しい。でもカードゲームやりたい。そんな子供たちの声を拾いピクミンのすごろくゲームを作成した。

【子ども集団作り

①異学年の取り組み②学年の取り組み③ニーズを形にした取り組み】

課題

- ・ 1年生～3年生の人数が全体の7割を占める。
- ・ 4月当初の保育計画をもとに目標を設定したため、見直さなくてはいけない取り組みが多かった。
- ・ ポケモン部では年間計画が未作成だった為、未実施の大会があった。
- ・ 子どものニーズを拾う大人が限られている。

わたっこハウス

2025年度
行動計画

2025年度 収益目標 39,500,000円

登録児童数 91名

(障害児受入加算対象者名 (A:4人 B:3人))

今年度の収益を算出。

現時点で1,500,000円ほど不足

委託金内訳

| 項目 | 見込み金額 |
|----------------------------------|------------|
| 保育料事業費 (特別徴収含む) | 10,548,000 |
| おやつ・教材費 | 3,276,000 |
| 委託金 (内訳参照) | 18,995,000 |
| 児童奨励費 | 4,044,000 |
| その他の収益 | 600,000 |
| ※キャリアアップ処遇改善費・放 課後児童支援員等処遇改善費 | 1,316,000 |
| 合計 | 38,043,000 |

| 項目 | 支援の単位A | 支援の単位B | 支援の単位A+B |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 基本額 | 4,868,000 | 4,868,000 | 9,736,000 |
| 開所日数加算 | 280,000 | 280,000 | 560,000 |
| 長時間開所加算 | 991,000 | 991,000 | 1,982,000 |
| 障害児受入推進 | 2,059,000 | 2,059,000 | 4,118,000 |
| 障害児受入強化推進 | 2,059,000 | 0 | 2,059,000 |
| 家賃等補助 | 0 | 540,000 | 540,000 |
| 合計 | 10,257,000 | 8,738,000 | 18,995,000 |

※2024年度を参考に算出。

わたっこハウスの事業目的

育成支援と就労支援

児童健全育成事業は、適切な遊び及び生活の場を与え、子どもの状況や発達段階を踏まえながらその健全な育成を図る。また、学校や地域の様々な社会資源との連携を図りながら、保護者と連携して育成支援を行うとともにその家庭の子育てを支援する事を目的とする事業です。

わたっこハウスは以下の3点を目標に日々保育を行っています。

- ①子どもの成長の場・経験の場・学びの場であると共に安心安全に過ごせる場・大切な場所になること目指す。
- ②全ての活動に対して、子どもの権利条約4本の柱を遵守する。
- ③年齢・学年にあった保育を行う。

行動計画①

【保育におけるスタッフの実践力の向上】

実践力を高めるためにアセスメント・応用行動分析（ABC分析）を活用できるよう力をつけていきます

◎応用行動分析を勉強する

- ・書籍を購入・・・職員全員が読む 対象：全スタッフ 期間：5月～9月
- ・学習会を設定する・・・他事業所に協力をお願いして学習する
対象：岩本・鈴木・五十嵐 期間：6月頃



◎計画を立てる勉強をする

- ・計画に沿った支援を学び、保育計画に繋げていく・・・他事業所に協力をお願いして学習する
対象：鈴木 期間：9月に1週間程度

◎子どもたちとの遊びについて勉強する

- ・アルバイトスタッフに遊びの大切さなどを伝えられる人材を育成する・・・放課後児童育成支援師の資格取得
対象：五十嵐 期間：11月～1月予定

行動計画②

【育成支援の情報提供の強化】

わたっこハウスが行っている育成支援の内容や思いを伝えていく。

◎親子交流会を設定・・・保護者の方と交流する時間を作り子どもたちの様子を伝える

時期：5月

◎SNSの有効活用・・・わたっこハウスの育成支援の内容を掲載する

入所説明会の詳細を掲載する

時期：年間で3回以上アップする

◎夏祭りに招待・・・夏祭りに参加してもらい子どもたちの頑張りを見てもらう

対象：保護者、学校の先生、行政関係者など 時期：8月末

行動計画③

【子どもの権利条約の意識啓発】

子どもの権利を学び、子どもだけでなく大人にも知ってもらう

◎子どもの権利条約プロジェクト第4期生活動

・・・今年度もプロジェクトチームの募集をかける 時期：5月

◎学校、行政、他事業所でお披露目会 時期：3月

・・・日程調整を行い訪問する

◎SNSで外部にも発信する 時期：3月

・・・完成した作品を動画にし、ブログに載せる

【子ども集団作り①異学年の取り組み】

子供の集団作りはわたっこハウスが一番大切にしている事です。

設定は同じですが、毎年内容を少しずつ変えながら子どもにとって成長・経験・学びの場となるよう保育計画を見ながら目標設定を行っていきます

①異学年の取り組み

◎1年生～3年生が全体の7割を占めるので、低学年重視の目標設定に変更

・・・枠組みをしっかり作り、子どもたちにわかる取り組みを作る

- グループ活動（5月～）
- フリーおやつ（6/9）
- 夏祭り（8/29・9/1）
- わたっこ運動会(10/20)
- 縄跳び検定（11月中旬）
- 伝承遊び大会（1月中旬）
- ババハウス（1/5）

【子ども集団作り②学年の取り組み】

子供の集団作りはわたっこハウスが一番大切にしている事です。

設定は同じですが、毎年内容を少しずつ変えながら子どもにとって成長・経験・学びの場となるよう保育計画を見ながら計画していきます

②学年の取り組み

◎半期で保育計画の見直しを行います。

・・・後期に学年の取り組みが増える為、見直しを行い取り組みを作る

- 3年生主催七夕会 (7/7) □ 5年生対象キャンプ (6/21.22) □ 4年生対象デイキャンプ (10/25)
- 2年生主催節分会 (2/3) □ 3年生冒険旅行 (3/7) □ 6年生卒所旅行 (3/20.21)

【子ども集団作り③ニーズを形にした取り組み】

子供の集団作りはわたっこハウスが一番大切にしている事です。

設定は同じですが、毎年内容を少しずつ変えながら子どもにとって成長・経験・学びの場となるよう保育計画を見ながら計画していきます

③ニーズを形にした取り組み

◎ポケカ部は継続・・・年間予定を作成し活動していく

◎子どものニーズを聞き取るスタッフを増やしていく

・・・スタッフ全員が意識をもって子どもの声を聞くよう共有していく

□子どもたちと一緒に今年も考えていく 例：Pokémonカード大会、ババハウス、おやつ作り、カードゲーム制作